

ナンバリング	A①01	科目名	日本国憲法
担当形態	単独	担当教員	中溝 明子
ディプロマポリシーとの関連性	②, ③		
テキスト	特になし		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2単位・講義
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重を基軸とする憲法の役割や構造を理解できる。</li> <li>・基本的人権と人権の調整原理について学び、人権感覚を身につける。</li> <li>・民主主義について理解を深め、民主主義の重要性を説明できる。</li> <li>・憲法の理念を保育・教育の現場に接続して考えることができる。</li> </ul>		
授業の概要	<p>日本国憲法が、国家権力を制約し、個人の人権や自由を保障する役割を果たしていることを確認し、人権の大切さを考えると共に、人権同士の衝突場面への対応などを考えます。また、子どもの人権を中心に人権の内容を理解し、これが侵害されない仕組みや対応を考えます。</p> <p>国民主権、民主主義が人権尊重の理念に結びついていることを学びます。</p> <p>ナラティブ教材を用いたグループワークなどを通じて、憲法の抽象的な概念を具体的な保育場面結び付ける学習を体験的に行います。</p>		
授業計画	<p>第1回 法の支配と憲法の目的</p> <p>第2回 人権の概要と人権の調整原理</p> <p>第3回 基本的人権概説</p> <p>第4回 法の下での平等</p> <p>第5回 両性の平等</p> <p>第6回 子どもの権利概説</p> <p>第7回 子どもの権利条約にみる子どもの権利</p> <p>第8回 意見表明と最善の利益</p> <p>第9回 権利侵害が起きるとき(いじめ、児童虐待)</p> <p>第10回 不適切保育(保育現場における権利擁護)</p> <p>第11回 経済的自由権・社会権</p> <p>第12回 人身の自由・裁判を受ける権利</p> <p>第13回 国民主権と権力分立</p> <p>第14回 国会と議院内閣制、選挙制度</p> <p>第15回 平和主義</p>		

準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業で学んだことを復習する(必要時間 30 分)</li> <li>・課題に取り組み、レポートを提出すること(必要時間 30 分)</li> </ul>				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み状況 40%</li> <li>・課題及びレポートの内容及び提出状況 60%</li> </ul>				
参考文献	「保育者のための法学・憲法入門(第2版)」 成文堂				
特記事項	なし				
課題へのフィードバック方法	課題、レポートに対する講評を行う				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	第 66 条の 6 に定める科目
	その他		保育士資格	選択	
教員の実務経験	弁護士としての活動の中から、保育現場や子どもの育ちに関連する事例を、ナラティブ教材を用いるなどして示し、対話や討論を通して、学生が主体的に考える場を設ける。				